



クッサン

くっさん



クッサンを用いた木口木版の彫り

概要

クッサン (cousin: 仏) は、木版画の木口木版において、ビュランを使用して版を彫る際に、版を回転させて彫るために使われる版木の下敷きとなるものです。銅版画でビュランを使用したエングレーヴィングの際にも使われる場合があります。

木口木版やエングレーヴィングにおいてビュランを用いて曲線などを彫る場合、ビュランは一方方向にしか進めないために、手を回転させて彫るのではなく、版を回転させて彫る必要があります。そのため、ヨーロッパでは、昔よりクッサンという道具が使われてきました。クッサンは楕円形の形をしており、外側は牛革でできていて、中には砂が詰め込んであります。そのため、サンドバッグやレザーパッドと呼ばれる場合もあります。またクッサンは、彫る際に版の下に置いて使用するために、力がかけても動かないように、ある程度の重量があります。このクッサンの上に版を乗せると版を自由に回転させることができるために、これを利用し版を動かすことで、ビュランで簡単に曲線を彫ることができます。これと似たようなものに、彫刻刀を使用する板目木版で使用する回転式の作業板などがあります。

クッサンは非常に高価なこともあり、今では、あまり多くは使用されていないのが現状です。クッサンは、版画材料を扱う画材店などで購入することができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

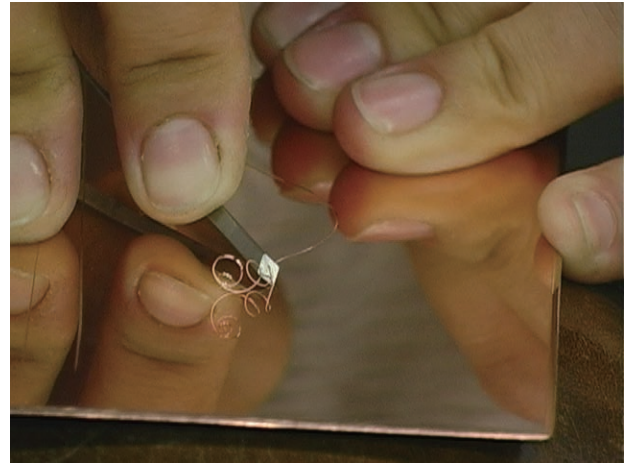
U

数字

使用例 1 木口木版でクッサンを使用して彫る



手順 1. 木口板をクッサンの上に置き、ビュランを手のひらで押すように使い、もう一方の手で木口板を押さえながら回すことで曲線を彫ることができます。クッサンがない場合には版の裏にコインを貼ることで版を回しやすくすることができます。



手順 2. ビュランで曲線を彫る場合には、クッサンの曲面を利用して版を回転させ、彫り進めます。

使用例 2 エングレーヴィングで描画する



手順 1. 銅版をクッサンの上に置き、ビュランを手のひらで押すように使い、片方の手で版を押さえながら版を彫りを行います。